

雑魚券にしとけー!

★京都府 京北 美山川

☆知見谷

「日券くださるーいー」

と料理屋の厨房でのれん越しに吐き出す。

「はいはい・・・アマゴですか?」

とのれんをかき分け若女将が出てきた。

「釣れますか?」と聞くと・・・

「どうぞすねえ〜」

と愛想を振って、のれん越しに



「どうじゃろうね?」と奥に声をかける。

程なく大将らしき親父さんが現れ、

「アマゴか?・・・餌釣りか?」と聞いた。

「いや、毛鉤です。」と伝えると・・・

「毛鉤かあ?毛鉤はこれからだが、魚がおるか
どうかや?・・・今じゃ厳しいぞー!」と切り出し
た後、

「雑魚券あったらう・・・」と若女将に指図した。

親父さんの説明を要約すると・・・

・もうこの時期(4月終わり)になると魚は殆ど釣られて残っていない。

・釣っているのは年券保持者か無銭釣りの連中ばかりで、この時期まじめに日券を買う者はいない。

・どうしても言うなら売らない事はないが、後で釣れないと文句を言われても困る。

・毛鉤なら「雑魚券にしとけー!」

「これなら500円でダメもとで、諦めもつく。

・「この名刺も付けておくから、漁協の巡回が来たら、この主人が毛鉤ならこれで釣ってエエちゅうたと言えー!」

意気込んでやって来たものの、いきなり出鼻を挫かれました。

しかし、この土地に住んでおられる方が言われるので有れば事実なんだろう。

少々落胆したが、ダメもとで500円と云う格安遊魚券の存在を知らされた事に気取



り直し、勇んで店を出まうとすると、親父さんが・・・

「知見谷がエエ・・・あそこなら未だ少し残ってるやもしれん・・・」と云う。ついでに詳しくポイントを聞き、礼を言いつて店を出た。

「ここ入るんやろ・・・」と本流からそれて道を上がると道路沿いに葦の若芽が川原に広がる落差の少ない川が流れている。少タイメージとは異なったがお勧めの川で有ればそれを信じて釣る事に疑問は無かった。

結果はカワムツのオンパレード……
何処に投げて、何を投げて、釣れる魚は
カワムツ……

やがて小さなアタックに軽く合わずと流れに
乗って走る走る……(これは凄いや……アマゴか
な?)と思いきや……ダムでヘッドが出る程ルア
ーで釣ったウグイだった。(こんな所にもおるん
やー)

結局、「雑魚券買ったさかい……雑魚しか釣れ
へんのと違うか?」とこの日は終わったが懲り
ずに次の休みにも出かけていた。

例の料理屋さんでのれんをかき分け……
「すいません……雑魚日券下さい。」
「はーい」

こうして、知見谷を足がかりに美山にとっ
りハマって行く……その間、かなり長きに渡
りこの料理屋さんの「雑魚券」は愛用させて
頂いた。

今はもう「雑魚券」の時期は美山には通う程
は行かず、行っても特別区になる為、何時しか
雑魚券は忘れられ、この料理屋さんにも行か
なくなってしまった。

本当に重宝させて頂き、長い間お世話になり
ました。

ありがとうございます。

■美山川・知見谷への二案内

この所、実際かなり前から行ってない。

落差の少ない葦の川と言う雰囲気、餌釣りの
抜き残しを拾うイメージだった。

唐戸の様に20cmアップが釣れると言う事は無
かったが、15cm前後は良く釣れた。

但し、春先は餌釣りの竿が立林する程、混ん
でいて、これで良く魚が残るもんだと関心させ
られた。余程、雑魚放流がしっかりしているの
だろう。

傾向としては、以外に魚が偏って居て、
釣れる所はまとまって釣れる。釣れない
所は全く釣れない。と言う感じで、足で
距離を稼ぐと分がある。

釣れる所は雑魚のアタックが極端に薄
くなる……こうなるとチャンス?かな
と思っていた。

上流で川が二手に分かれるが、フライ
ではその手前までが釣りやすく案外下流
域の瀬が狙い目だったが、ウグイも多く
大型が掛ければ、まずウグイと思って間
違い無いだろう。

久しぶりに調査しなければ、これ以上
は詳しく書けない……

2006年 3月

